

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	795 研究指定校支援事業									
戦略プラン					担当部課 係名	教育局教育指導課 教育指導係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-100102-24 学校教育研究支援に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行				
						<input type="checkbox"/> 評価・検証				
根拠法令					事業体制	職員のみ				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>学校教育研究事業を支援することによって、指導法や教材の開発、教職員の資質の向上を図り、児童生徒の学力を向上させる。</p>					<p>・市教育局で教育研究のモデル校を指定し、指導法や教材の研究開発に対し指導・助言をする。</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市教育局で教育研究のモデル学園を指定し、指導法や教材の研究開発に対して指導・助言をする。</li> <li>・H30研究指定校 竹園学園 光輝学園 大穂学園</li> <li>・H30～31研究指定校 輝翔学園 洞峰学園 荃崎学園</li> <li>・5月～翌3月 年3回程度の訪問指導を実施し、指導・助言を行う。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度研究指定発表校である竹園学園 光輝学園 大穂学園への訪問を各3回ずつ実施し、助言・指導を行った。</li> <li>・H31年度研究指定発表校である輝翔学園 洞峰学園 荃崎学園への訪問を2回ずつ実施し、指導・助言を行った。</li> </ul>					
成果					課題					
<p>H30年度研究指定発表校は11月に発表会を実施した。竹園学園11月16日、光輝学園11月17日、大穂学園11月17日に実施し、市内各校から教員の参加があり、指導法等の向上を図ることができた。</p>										
改善目標（R01年度にむけて）										
指標の推移										
1	指標名	研究校（学園）の指定数					（ 校 ）		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	6.0	6.0	6.0	7.0	8.0	0.0	0.0		
	実績	6.0	6.0	7.0	7.0	6.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						（ ）			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	914	1,376	1,300	0
事業費計		(千円)	914	1,376	1,300	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.70	0.70		
		時間外勤務 (時間)	170.00	170.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	5,404	5,362		
事業コスト		(千円)	6,318	6,738		

R01年度当初積算根拠	1,300,000円					
	・研究指定校講師謝礼 187,000円					
	・研究指定校用教材用消耗品 933,000円					
	・印刷製本費 120,000円					
	・バス借上げ 小中連携事業バス借上げ 60,000円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成29年度	平成30年度	令和 1年度	令和 2年度
			(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	573	0	0	0
	一般財源	(千円)	119	177	123	0
事業費計		(千円)	692	177	123	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.35	0.35		
		時間外勤務 (時間)	190.00	190.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,968	2,942		
事業コスト		(千円)	3,660	3,119		

R01年度当初積算根拠

- ・各種講座講師謝礼 48,000円
- ・研修会講師旅費・県外研修会旅費 31,200円
- ・消耗品費 24,000円
- ・飲み物代(視察受入時) 7,200円
- ・研究発表会参加費 12,000円

予算の方向性	理由
維持	

方向性

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	377	395	388	0
事業費計		(千円)	377	395	388	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	10.00	100.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,159	2,367		
事業コスト		(千円)	2,536	2,762		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>賞賜金(メダル・記念品代) 210,540円</li> <li>リーグ委員・審査委員旅費 40,000円</li> <li>消耗品費 128,000円(事務用消耗品、実験器具等教材用消耗品)</li> <li>傷害保険料 9,450円</li> </ul>
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	1,084	0	0
	県支出金	(千円)	0	1,084	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	2,509	0	3,292	0
	一般財源	(千円)	133	1,085	0	0
事業費計		(千円)	2,642	3,253	3,292	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	20.00	200.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,473	1,909		
事業コスト		(千円)	4,115	5,162		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校・義務教育学校前期課程 サポーター謝礼 3,000円×5日×161学級(4学年・5学年) 2,415,000円 サポーター傷害保険料 160円×200名=32,000円</li> <li>中学校・義務教育学校後期課程 サポーター謝礼 1,500円×4時間×134学級(7学年・8学年) 804,000円 サポーター傷害保険料 340円×120円=40,800円</li> </ul>
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	0	0	0
事業費計		(千円)	0	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.50	1.50		
		時間外勤務 (時間)	330.00	300.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	11,494	11,331		
事業コスト		(千円)	11,494	11,331		

R01年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	546	565	615	0
事業費計		(千円)	546	565	615	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	30.00	30.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,498	1,487		
事業コスト		(千円)	2,044	2,052		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>賞賜金 3,000円×5校=15,000円</li> <li>消耗品費 30,000円×5校=150,000円</li> <li>備品購入費 90,000円×5校=450,000円</li> </ul>					
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,028	2,248	2,259	0
事業費計		(千円)	2,028	2,248	2,259	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.35	0.35		
		時間外勤務 (時間)	40.00	40.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,589	2,570		
事業コスト		(千円)	4,617	4,818		

- R01年度当初積算根拠
- ・報償費 1,293,000円  
国際理解集会講師謝礼 330,000円 (1人2,000円×5人×33校)  
日本語指導ボランティア謝礼 847,000円 (1時間700円×1,210時間)  
日本語指導ボランティアコーディネーター 26,000円 (1時間1,000円×26時間)  
日本語指導ボランティア・コーディネーター交通費 90,000円 (H30年度 前期実績より試算)
  - ・需用費 325,000円  
国際理解集会用消耗品 165,000円 (5,000円×33校)  
日本語指導ボランティア消耗品160,000円 (10,000円×16校)
  - ・役務費 62,020円  
傷害保険料 8,860円×7名=62,020円
  - ・委託費 577,500円  
GETC Jr. 受験料 577,500円 (1回3,500円×1.10×150人)

予算の方向性	理由
維持	

方向性

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	288	448	0	0
事業費計		(千円)	288	448	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.35	0.35		
		時間外勤務 (時間)	50.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,615	2,495		
事業コスト		(千円)	2,903	2,943		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>報償費 115,000円 出前レクチャー講師謝礼 5,000円×20回=100,000円 出前レクチャー補助員謝礼 3,000円×3回=15,000円</li> <li>需用費 271,400円 科学教育推進事業事務用消耗品 80,000円 出前レクチャー実験材料代 4,000円×15回×1.10=66,000円 科学出前レクチャーパネル印刷 (A1フレーム) 24,000円×2枚×1.10=52,800円 科学出前レクチャーチャラシ 33円×2,000円×1.10=72,600円</li> <li>役務費 67,750円 出前レクチャー講師傷害保険 49,750円 出前レクチャー受講者傷害保険 18,000円</li> </ul>
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない、又は不明である。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	807 つくばちびっ子博士事業									
戦略プラン	I	2	2	つくばスタイル科の充実	担当部課	教育局教育指導課				
総合戦略	II	2	(3)	科学教育の推進	係名	学校・地域連携係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-100501-16 科学教育推進に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分		事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画						事業体制	一部委託			
根拠法令					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
最先端科学技術都市としての特性を生かし、大学や研究機関の協力を得て、子どもたちに科学技術に触れさせ、楽しみながら科学への興味や関心を高めさせる。					<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の協力研究機関等を子ども達がスタンプラリー形式で見学し、見学期間（夏休み）終了後、提出された専用パスポートの内容により、最優秀ちびっ子博士・優秀ちびっ子博士・ちびっ子博士に認定し、認定証と記念品を授与</li> <li>対象者は、全国の小中学生</li> </ul>					
評価										
事業計画					活動実績					
4月 事業計画を作成、各機関に指定見学施設登録を依頼 5、6月 チラシ・パスポート等作成、広報つくば(7月号)掲載依頼、説明会実施 7月 チラシ・パスポート配布 7月21日～8月31日 ちびっ子博士開催(42日間) 9月25日 パスポート提出期限 9月～11月 認定作業 12月～1月 認定証・記念品送付					<ul style="list-style-type: none"> <li>指定見学施設を新規2施設増加</li> <li>昨年実施の3施設が取り止めたことにより、38か所の見学施設で実施認定基準の見直しを図ったこともあり、延べ来場者数が113,000名を超えた。(昨年比7,096人増)</li> <li>パスポート提出者数は5,000名を超えた。(昨年比1,246人増)</li> </ul>					
成果					課題					
認定基準を見直したため、来場者及びパスポート提出者が大幅に増加した。また、科学への興味関心が高められた。					見学施設を増やし、来場者及びパスポート提出者の増加を図る。					
改善目標（R01年度にむけて）										
見学施設を増やす。つくばちびっ子博士事業の周知拡大										
指標の推移										
1	指標名	パスポート提出者数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	4,200.0	4,400.0	4,420.0	4,440.0	4,460.0	4,480.0	4,500.0		
	実績	4,358.0	4,283.0	3,748.0	3,803.0	5,049.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和1年度 (当初)	令和2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,723	3,221	0	0
事業費計		(千円)	2,723	3,221	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	80.00	30.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,756	3,604		
事業コスト		(千円)	6,479	6,825		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 需用費 3,038,340円 <ul style="list-style-type: none"> <li>ちびっ子博士参加記念品代 <ul style="list-style-type: none"> <li>①最優秀ちびっ子博士 370円×1,500セット×1.10=610,500円</li> <li>②優秀ちびっ子博士 180円×2,500セット×1.10=495,500円</li> <li>③ちびっ子博士 100円×1,500セット×1.10=165,000円</li> </ul> </li> <li>ちびっ子博士看板代 69,120円 のぼり旗 36,720円 のぼり旗ポール 6,480円</li> <li>ちびっ子博士スタンプ代 99,900円 ちびっ子博士ポスター 43,740円</li> <li>ちびっ子博士認定証 78,650円 ちびっ子博士うちわ(ジュニア) 324,000円</li> <li>ちびっ子博士パスポート 499,230円 ちびっ子博士チラシ 499,500円</li> <li>ちびっ子博士認定証宛名印刷 110,000円</li> </ul> </li> <li>・ 役務費 324,000円</li> <li>ちびっ子博士来場者傷害保険 324,000円</li> </ul>
-------------	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	3 やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	6,835	7,347	0	0
事業費計		(千円)	6,835	7,347	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	100.00	20.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,807	3,579		
事業コスト		(千円)	10,642	10,926		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費 98,600円 ボランティア謝礼 48,000円 入賞者記念品 50,600円</li> <li>・需用費 2,783,040円 標語入賞者記念品 154,000円</li> <li>参加団体ブース用消耗品 1,500,000円</li> <li>科学フェスティバル (ポスター・チラシ・解説書等) 1,129,040円</li> <li>・役務費 202,920円</li> <li>科学フェスティバル事業賠償責任保険・入場者・展示関係傷害保険 202,920円</li> <li>・委託料 4,098,000円</li> <li>会場設営委託料 4,043,000円 ごみ処理業務委託料 55,000円</li> <li>・使用料及び賃借料 400,400円</li> <li>駐車場使用料 400,400円</li> </ul>
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	2,493	2,793	2,793	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	899	1,441	0	0
事業費計		(千円)	3,392	4,234	2,793	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.15	0.15		
		時間外勤務 (時間)	30.00	30.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,142	1,134		
事業コスト		(千円)	4,534	5,368		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>報償費 3,550,000円</li> <li>ボランティア指導員謝礼 3,520,000円 (1日2,000円×22日×5人×16校)</li> <li>運営委員謝礼 30,000円 (1回3,000円×2回×5人)</li> <li>旅費 2,000円</li> <li>運営委員旅費1,000円×2名</li> <li>需用費 640,000円</li> <li>事務用消耗品 320,000円 (20,000円×16校)</li> <li>教材テキスト代 320,000円 (20,000円×16校)</li> <li>役務費 86,100円</li> <li>傷害保険料 8,610円×10名=86,100円</li> <li>総事業費 4,277千円 (うち国・県費補助は2,793千円)</li> <li>県費補助=4,190千円 (補助対象経費) × 2 / 3 (国・県費補助率) =2,793千円</li> </ul>
-------------	--

予算の方向性	理由
維持	

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	814 学校教育指導員の配置事業							
戦略プラン					担当部課 係名	教育局教育指導課 教育指導係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-100102-30 学校教育・特別支援教育指導員に要す			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間						
個別計画								
根拠法令				事業体制	職員のみ			
				市長公約				
概要								
事業の目的				事業の概要				
学校教育指導員を配置し、学校教育及び幼稚園教育の充実及び振興を図るため。				・教員からの学校運営に関する相談や保護者からの学校への要望等に対し、迅速かつ的確なアドバイス等ができるように、専門的な知識をもつ「学校指導員」を任用する。				
評価								
事業計画				活動実績				
・学校・幼稚園訪問を通じて、教員からの学校運営に関する相談や保護者からの学校への要望等に対し、迅速かつ的確なアドバイスを行う。 4月～3月（市内全学校45校、全幼稚園16園）				・学校・幼稚園訪問を通じて、教員からの学校運営に関する相談や保護者からの学校への要望等に対し、迅速かつ的確なアドバイスを行った。 4月～3月（市内全学校45校、全幼稚園16園）				
成果				課題				
相談及び要望等に迅速かつ適切にアドバイスを行ったことで、学校運営が順調に進んだ。				特になし				
改善目標（R01年度にむけて）								
指標の推移								
1	指標名	学校・幼稚園訪問回数（回）					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	67.0	61.0	61.0	61.0
	実績	0.0	0.0	0.0	67.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	学校訪問を通じて、教員からの学校運営に関する相談や保護者からの学校への要望等に対してアドバイスを行った回数（市内全幼稚園・全学校）						
2	指標名	（ ）						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,982	4,065	4,065	0
事業費計		(千円)	1,982	4,065	4,065	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	20.00	20.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	762	756		
事業コスト		(千円)	2,744	4,821		

R01年度当初積算根拠	・報酬	2人×160,000円×12ヶ月=3,840,000円
	・旅費 (費用弁償)	2人×17日×550円×12ヶ月=224,400円

予算の方向性	理由	市立中学校及び義務教育学校において、運動部の外部指導員として「部活動指導員」を任用し、更なる教育の充実を図るため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		